

F u - Z i n

第37号

平成26年11月発行



報告

第32回NPO博多の風フォーラム

「明日への一言。」

明日の為にすこしだけ



報告

第13回 博多のおいしゃんと歩こう
追い山笠コース探訪

告知

第14回
楽文コンテスト表彰式

近年の活動

※設立からの詳細はホームページをご参照ください
<http://hakanokaze.jp>

平成25年

- 4月 第30回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師: 前田 敦氏(西南学院大学法学部准教授)
- 5月 第23回 はかたの町クリーン作戦 実施
- 6月 第12回 追山コース探訪 開催
第13回 楽文コンテスト 開催
- 10月 第24回 はかたの町クリーン作戦 実施
- 11月 第31回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師: 松本 龍氏(元環境大臣)

平成26年

- 4月 第32回 NPO博多の風フォーラム 開催
講師: 大庭 宗一氏(NPO博多の風 理事長)
- 6月 第13回 追山コース探訪 開催
第14回 楽文コンテスト 開催

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027
福岡市博多区下川端町8-16 -302
FAX 092-263-7188

E-Mail info@hakanokaze.jp
URL <http://hakanokaze.jp>

NPO博多の風の歩み

- 設立
平成10年 9月
任意団体『博多の風』設立 代表: 大庭宗一
- NPO登記
平成12年 6月
『NPO博多の風』として登記 理事長: 大庭宗一

NPO博多の風事業概要

- 啓発事業
 - ・博多の風フォーラム開催
 - ・広報誌・HP発行
 - ・毎日新聞世論フォーラム公聴
 - ・作文コンクール(楽文コンテスト)開催
- 地域環境向上事業
 - ・博多の町親交
(清掃活動クリーン作戦・冷泉小学校跡地提言・山笠文化継承)
- 活性化事業
 - ・書籍出版
 - ・博多祇園山笠の振興
 - ・追山コース探訪開催
- 協力事業
 - ・各市民団体との情報交換及び支援





1 山留め

追山笠のスタート地点は「山留め」。太鼓の音と共に、清道を目指して一気に駆け上がる。気持ちが高ぶる場所。



5 浜口公園(東町筋)

普通の追山笠では止まりませんが、今日はちょっと休憩します。



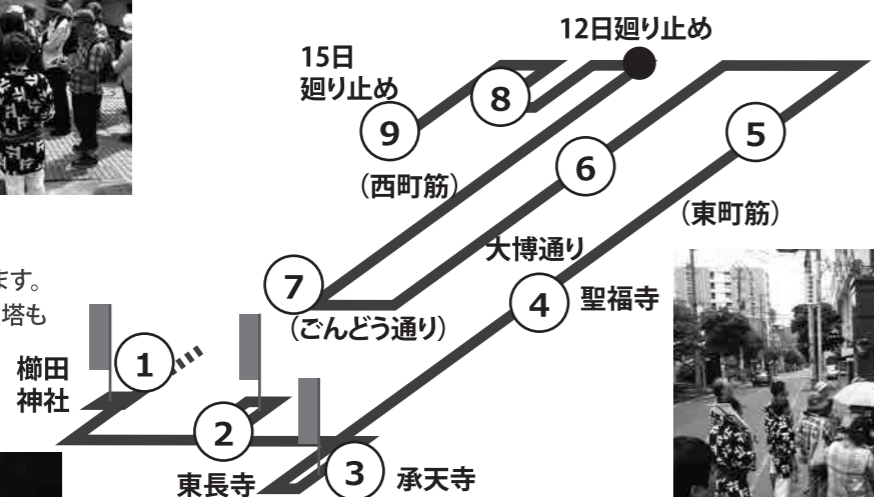
7 西町筋

ごんどう通りを曲がると、西町筋です。この角では、道幅が狭くベテランの鼻取りが付くことが多いです。



2 東長寺

2つ目の清道旗が立ちます。境内には大仏殿や五重塔もあります。



3 承天寺

3つ目の清道旗が立ちます。山笠の迫力を間近で見れるポイントです。



4 聖福寺

東町筋に入ると、寺社が多い町並みに変わります。聖福寺では「博多べい」や立派な楼門を見る事ができます。



6 大博通り

道路の幅が広いと、横に広がりがちになり、意外に山笠が蛇行したりします。



8 沖濱稻荷神社

追山笠廻り止めの少し前にある神社。川上音二郎生誕の石碑があります。



9 15日廻り止め

須崎問屋街にある廻り止め。最後の直線は以外と長いですが、看板が見えると、自然と山足も速くなります。



報告

第13回追い山笠コース探訪

博多の

おいしゃんと

博多を歩く。

6月1日に今年で13回目となる恒例の追い山笠コース探訪を実施しました。今年も新聞紙上での案内やホームページへの掲載に加えて、地下鉄駅構内にポスターも掲示。朝の情報番組にも出演して幅広く参加を呼びかけました。9時に冷泉公園に集合したのち、理事長の挨拶、注意事項の連絡が続いて、各班に分かれて順次スタートしました。法被に袖を通した博多の風の仲間達が、語り部として追い山コースを案内します。まずは土居通りを上っていき、榊田神社の山留めへ。太鼓の音と共に、榊田神社に向かって山笠が動きだす場所です。

ここから、須崎の問屋街の廻り止めまで、約5キロの追い山コースの順路を、通常は約30分で進みますが、今回の探訪では、2時間かけてゆっくり歩いていきます。博多部に残る神社仏閣などの様々な歴史背景や、異手ならではの裏話などを交えて博多の町を歩くと、色々な発見が沢山あります。毎回、アンケートでは「寺社仏閣の多さ」「コースがこんなに複雑とは思わなかった」などの言葉とともに、「博多の町のすばらしさを再発見できた」という感想が多く寄せられています。



風人來人(事業紹介) 楽文コンテスト事業

世話人紹介

楽文コンテスト事業

中村 巨樹
(土居流 下土居町)



■山笠との出会い
私の父と大庭宗一さんが高校時代からの友人で、その繋がりで父が山笠に出ていました。私も幼少の頃から連れられて参加していましたが、中学校時代に部活動などの関係で離れてしまいました。父が再び、大学時代からまた参加しています。

■山笠の良いところ
山笠の迫力や、スピード感、皆で山を昇る一体感などはもちろんですが、一番は山笠を始めたことで知り合ったたくさんの仲間の存在です。

一年間を通して顔を合わせるのも、学生時代の友人などよりも一緒に過ごす時間が多く、何でも話ができる存在です。普通の生活をしていたら知り合わなかったであろう、世代や職業が違ふ人たちの出会いに自分が成長させてもらっている気がします。

■生徒の笑顔を見るのが喜び
やっけて良かったと思うことは、今の小中学生の流行や考え方、周りの環境などを作品を読む事で教えてもらえる事です。

何よりも、表彰式当日に笑顔で賞状をもらって記念撮影をされる生徒さん方を見た時に、何とも言えない喜びと達成感を頂いております。

・1500通を超える応募作品



を決めないといけないのは、毎回心苦しいです。

■表彰式に向けて
入賞作品が決まりましたら11月中旬の表彰式に向けての準備が始まります。学校を通じての入賞者への連絡、表彰式参加者の出欠のとりまとめ、表彰状・入賞作品を載せた広報誌の作成、表彰式の進行案作成です。せつかく入賞したのに、悪い気持ちにさせてしまわないように、表彰状や広報誌に載せた入賞生徒さんの名前の漢字やよみがな等を間違えないよう一番気をつけております。

そして表彰式を迎えます。表彰式が終われば、応募生徒さん全員への参加賞準備と配布でその年の楽文コンテストが終了となります。

■選考会は4次選考まで
募集締切後、9月中旬より選考期間に入ります。1ヵ月以上をかけて第1次〜第4次の最終選考まで行い、10月下旬に多くの作品の中から25作品に絞られます。選考は一次、二次を博多の風執行部、三次及び最終選考は後援・協賛頂いた企業の方にお願ひしております。

実は、一番苦労するのは、作品選考です。嬉しい事に回を増すごとにたくさんのご応募を頂けるようになり、今回は1538作品のご応募を頂けて頂いております。それだけの作品を限られたスケジュールの中で25作品まで絞ると言うのはとても大変です。しかも皆さんの気持ちあふれる作品の中から落選作品

■準備スタートは3月から
楽文事業は毎年3月頃から福岡市、福岡市教育委員会はじめ後援・協賛頂ける企業・団体へのお願ひ回りから始まり、後援・協賛頂ける企業・団体が決まりましたら、5月頃より募集チラシの作成です。楽文コンテストの応募数は、取り組んでいただけの学校・クラスの数にも比例します。先生に気にとめてもらえるようにデザインや文章に毎年試行錯誤しております。

6月中旬には福岡市市内(二部市外もあり)の市立の小中学校に福岡市役所を通じてチラシを配布します。募集期間が7月初旬〜9月上旬となっており、夏休みの課題に指定される学校もあるようです。

SCHEDULE

- 3月 後援・協賛のお願い
- 5月 チラシ作成
- 6月 小学校へ協力依頼
- 7月~9月上旬 募集期間
- 9月中旬~ 一次選考
- 10月 二次選考
三次選考
四次(最終)選考
- 11月 表彰式

・第14回の募集チラシ



・入選作品選考会(第一次選考)



告知

第14回 楽文コンテスト表彰式

平成26年11月22日(土)開催(予定)
開場10時30分 開演11時
会場 博多小学校 表現の舞台

今回で14回目となる楽文コンテストですが、7月から9月の募集期間に、福岡市内外の小中学生から1538通の応募がありました。1次選考から4次選考を経て、博多の風の執行部や後援・協賛いただいた企業・団体の方にも協力頂き、作品を選ばせていただいております。家族や友達のこと、お祭りや夢中になっていることなど、「みんなが大好きなこと」について書いた作品で、子供らしい活き活きとした作文や、大人では気付かない視点での文章など、読み応えのある作品がそろっています。表彰式では、優秀作品の表彰と、各賞代表の方の作品発表を予定しています。ご期待ください。



第13回表彰式の模様 (平成25年11月)

告知

書籍新刊「明日への一言。」

出版事業担当では、昨年3月に発売した「明日への一言。」以来の書籍の準備を進めています。好評の熱いメッセージがいっぱい詰まったエッセイ集の第9弾です。次回のフォーラムでの発売も予定しております。詳しくは、後日、NPO博多の風ホームページなどでも公開します。

最新刊 2014年秋 発売予定

表紙イメージ



NPO博多の風 賛助会員募集のお知らせ

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お知り合いの方をご紹介ください。

お問合せ
「NPO博多の風」広報企画(担当:山口)

E-mail info@hakatanokaze.jp
FAX 092-263-7188

NPO博多の風の最新情報はホームページに掲載中です。



URL <http://hakatanokaze.jp>

〜編集後記〜

娘が通う小学校の授業参観に行ってきました。私が子供の頃は、平日に開催されており、母が来てくれていました。娘の小学校では「学校を開く週間」として、1週間授業が公開されており、親はどの授業でも見る事ができます。さらには土曜参観も設定されています。平日に働く人も土日に働く人も、子供の学ぶ姿を見る事ができますので、大変良い企画だと感じました。

授業では、我々の頃にはなかった機器なども使っているようですが、九九などは相変わらず暗誦するまで言わせるような事もしています。教える方法は変わっても、教える中身はあまり変わらないうものだと思います。

私たちが先輩から教えてもらったものを繋いでいくには、その本質が何なのかを理解した上で、その時々最適な手段を考えていくことが必要になります。また、それを次に伝える時には、手段や方法論ではなく、その本質こそ伝えることが大切なのではないかと改めて感じました。

(中山 肇)